

KBC ふるさと Wish



福岡県内 60 市町村の魅力を KBC のテレビとラジオで毎日、たっぷりと伝える「ふるさと Wish」。水巻町はコスモスの季節の登場となり、10月26日～11月1日にテレビやラジオで水巻町のお店や人がたっぷりと紹介されました。

人権の擁護と人権思想の普及



10月26日、人権擁護委員の木村隆さん(古賀)が法務大臣表彰を受けました。

この表彰は、長年にわたって、地域の住民からの人権相談や人権啓発活動を行ってきたことに対して贈られたものです。受賞おめでとございます。

WITHコロナ時代を生き抜く



11月9日、創業に興味がある人などを対象とした「おんが創業・経営塾」が水巻町商工会で開催されました。遠賀郡内の町・町商工会、遠賀信用金庫などが協力しながら行っているこの事業。来年1月に芦屋町、2月に遠賀町でも開催される予定です。



負けられないジャンプ

ファミリー体力測定会

11月15日、町民体育館でファミリー体力測定会が行われ、それぞれの体力の状態を確認しました。家族そろってスポーツに親しむ習慣を身につけてほしいと、スポーツ推進委員が企画したこの体力測定会。測定メニューは、立ち幅跳びや反復横跳びなどです。立ち幅跳びでは、親子・姉妹で「負けたくない」と互いの記録を意識しながら跳躍する姿も多く見られました。また、「毎年、測定し、一年前の自分との違いを確かめる」という参加者もいて、親子・姉妹だけでなく、自分との戦いも行われていることも感じる体力測定会でした。



感謝の気持ちを込めて

 (写真は農業委員の永沼靖さん)

水巻町表彰

今年は、文化の日に表彰式を行わず、個別に表彰状を授与しています。受賞した皆さんは次のとおりです。(敬称略・順不同)

【水巻町表彰】●永年勤続功労者表彰▷農業委員 永沼靖▷区長 江藤幹男/山田勝義▷固定資産評価審査委員 竹内國雄▷消防団員 黒瀬尚幸/鳥越勉/黒川能上/古賀誠進/石田博昭/平田和政 ●感謝状▷地域安全パトロール隊 曾根尋乃/山下俊次/豊浦喜教/河野治▷ふれあい体操活動 吉田一区/中央区/高松区▷広報配布人 小江由美子

【水巻町教育委員会表彰】●教育功労者表彰▷公民館長 渡邊和俊▷スポーツ推進委員 西村英一/井上彰恵/原口浩一▷学校医 原崇/浦野貴之/瀬藤有子/藤松信二▷水巻SSL会員 青山一枝/小倉友子/矢野和子▷文化連盟所属団体指導者 原田武士▷文化連盟理事 中島陽子▷自治会役員 宇都宮紀

【水巻町社会福祉協議会表彰】●永年勤続功労者表彰▷評議員 三好和信▷評議員理事 久保田賢治▷民生委員・児童委員 今岡輝夫/大庭実鈴/河野真由美▷(社福)福祉松快園 松岡功峻/高倉千鶴子/友永喜代子/佐藤一栄/岡本和代/佐藤耕一/松岡聖子/木村五月/阿部透 ●社会福祉功労者表彰▷特別会員 木村隆/(医)くすもと医院/水巻共立病院/(株)永田組

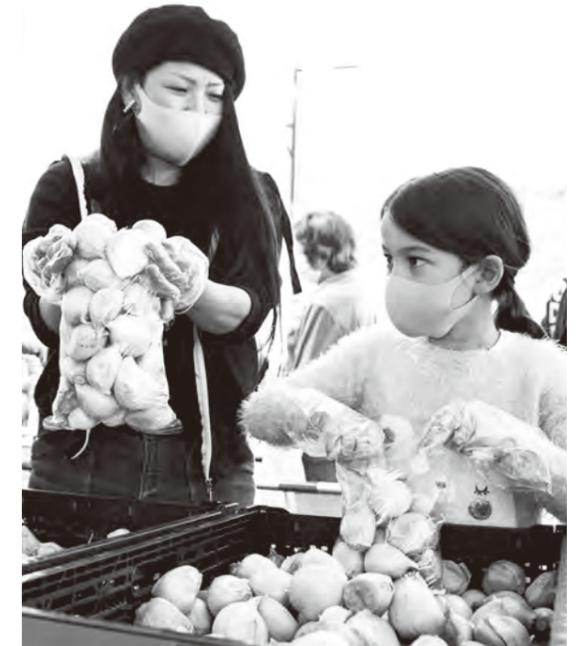


土手のイチョウって、夫婦だったの!?

ふれあい活動普及講座「絵で観る歴史散歩」

11月12日、いきいきほーるでふれあい活動普及講座が行われ、「絵で観る歴史散歩」コースに26人が参加しました。ふれあい活動普及講座は町内のボランティア団体が自分たちの活動を活かした講座を行うことで、ボランティアの輪を多くの人へ広げたいと毎年行っているもので、今年で15回目です。

「絵で観る歴史散歩」コースでは図書館などで活動している歴史ボランティアが、町内40か所の名所を水彩画を使って案内。「立屋敷の土手にある大きな2本のイチョウの木。これって夫婦なんですよ」など、日頃、何気なく通り過ぎている場所の情報や歴史を紹介しました。講座の終わりに行われた質問コーナーでは参加者から数多くの質問が寄せられ、参加者にとって町の魅力を再発見できた講座となりました。



親子競争「ママって、すごいでしょー」
夢工房 秋の収穫感謝祭

10月31日、頃末北にある夢工房で秋の収穫感謝祭が行われました。この日のメインイベントは500円でできる「水巻のでかんにく」の詰め放題。通常2,000円相当の商品が安く購入できるとあって、開始前からできた長蛇の列は終了までの3時間、途切れることはありませんでした。

小学校2年生の娘と参加した親子はどちらが多く詰められるかを競争。店員からアドバイスを受け、粒の大きいにんにくと小さいにんにくを交互に入れて、袋の余白を無くしていきました。入れすぎて袋が破れる人も続出しましたが、お母さんは破れることなくパンパンに膨れ上がった袋を娘に披露していました。

11月6日、鯨瀬排水機場(猪熊)で新規排水ポンプ増設に伴う現地見学会が行われ、町長をはじめ松本國寛県議会議員や町議会議員、区長など総勢31人が参加しました。

町内を流れる曲川には川の増水に対応するため、国や県が伊左座・杵・猪熊の3か所に排水機場を設け、大雨時はポンプを使って遠賀川などへ川の水を排出しています。町は防災強化のため、長年ポンプ増設を県に要望して、今回念願の1台が増設されました。

松本県議は「1台ポンプが増えたことで、これまでより40%多く川の水を排出できるようになりました。今後、50年に一度の大雨が来たとしても十分対応できます」と力強く紹介していました。

50年に一度の大雨でも大丈夫
鯨瀬排水機場現地見学会